

新日美大賞 七弦の月の下(工芸)

保田昌子



第三十四回 新日美展におきまして工芸の部で新日美大賞をいただきました。有難うございました。昨年初めて新日美展に出品し幸いにも入選させていただきました。

それだけでも大変な事なのだと思っておりまして。そして今年は一二年目の挑戦でこのような大きな賞を頂くことができ一層の驚きを感じるのと同時に感謝の気持ちでいっぱいです。

サンドブラストを始めてもうすぐ九年になります。六年間山口県岩国市から神戸、大阪、京都と月に三回サンドブラストを習いに通い、三年前前から一人で自宅の工房で制作しています。

その間に硝子の素材を作ってくれる(宙吹き被せ硝子)ガラス工房やアイアンベースを作ってくれる職人さんを、インターネットで探したり大変な事が沢山ありました。硝子の形や色を指定して制作してもらいその後で硝子を彫る作業があります。

サンドブラストは機械を使い硝子を彫って模様を作っていくため、かなり大きな機械が必要になり個人ではなかなか難しいところもあり、あまり一般的ではないのではないかと思っています。多くの方たちにサンドブラストはどんなものなのかを知っていただく為にも美しい作品を作り多くの方たちに色々な場所で観ていただく機会があればと思つて活動しているところです。

私の師である竹内洪氏に大賞を頂いたことを報告したところ次のようなコメントをメールいただきました。硝子の知識をさらに深めることにも生態系環境を考へること、硝子、芸術を通して感ずることなどを自らの発想で硝子に表現することでサンドブラストの深遠を是非多くの人に広めてください。これからも、なお一層今回を上回る作品を制作してくださいとメールを頂きました。初心を思い出し、スケッチを描きこみなさい、きつと次のテーマが見えてきますよとの一文もありました。本当にこれからの正念場だと思つています。

来年は今年よりさらに進歩が感じられる作品づくりに励みたいと思つています。今回の大賞に恥じないように頑張りたいと思つています。どうも有り難うございました。

新人賞 TOYS(絵画) 豊島亜由美



新日美展には今回初めて出品させていただきました。展示を見て、陳列された作品のレベルの高さに驚きました。

どの作品も個性的で、完成度が高く、制作された方々の作品に対する熱意が伝わってくるようでした。そんなすばらしい作品が数多くある中で、新人賞をいただけたいことをとても嬉しく思っています。

「TOYS」はブリキの人形やおもちゃ等を積み上げたような構図で、賑やかさや楽しさとともに、玩具の持つ感情のない無機質さのようなものが感じられるよう、意識して制作しました。またモチーフが多いので、散漫に見えないよう全体的なカラーをある程度統一して描きました。反省点もありますが、ほぼ描きたいものが描けたと思える作品です。

私の作品は細かい作業が多く、完成まで時間もかかり、制作途中で迷いや焦りが生じることも多いのですが、今回、賞をいただき、様々な方に褒めていただき、自分の作品や制作スタイルに自信が持てたように思っています。

会長賞 潮風通る路地裏(絵画) 藤田秀子

藤田秀子

思いがけなく会長賞を頂き、本当に嬉しく感謝申し上げます。

水墨画を中心とした絵を描いている私ですが、墨と水と筆、これだけで白い紙にすべてを

表現する難しさに、何度も挫折しそうになりました。併し、難しいからこそ、その反面喜びも大きく、それが私を二十年近くも続けさせてくれたと思つています。今、先生や仲間の方達と絵の世界で前向きで居られることが、幸せなことと思います。

見る人の心を動かせるもの、感動できるものを描きたいと、夢のように思っている私の気持ちだが、この度少し評価して頂いたかと、心から嬉しく光栄に思つております。初めて出席した懇親会で、大先輩の方達から話しかけ頂き、又会長から直接水墨画について、お話を聞けたことは、忘れられないこととなりました。

励ましと後押しをして頂いていることを自覚し、出来る処まで前向きで、挑戦したいと思つております。

新人賞 ハピネス(絵画) 勝山絹枝



今回は、新人賞の栄誉を戴き、誠に有り難うございました。私は現在六十九歳です。十五年前から油絵教室に通つております。

その間、夫の脾臓がん、娘の交通事故などがあり、休んだりしましたが、子供の頃から絵が好きだったので、やめないでこまめやつてきました。夫の病状も再発の危険が無くなりました。

今までは、あまり大きくない具象画ばかり描いていましたが、二年前、娘が結婚したと同時に、肩の荷が下りたせいか、娘時代に戻つたような、軽やかで幸せいっぱい夢いっぱいの気分になりました。その気持ちをそのまま五十号のキャンバスにぶつけてみました。その絵が図らずも今回、新人賞を戴き、これ以上の喜びはありません。

現在百号の絵に挑戦中です。大きな額は主人が作ってくれます。主人も私が新人賞を戴き、何か張り切っているように見えます。これからも二人三脚で楽しい絵を描いて

てゆきたいと思つていますのでよろしくお願ひします。今回は大変に有り難うございました。

会長賞 彩り(絵画) 色摩光雄

賞の重み

「会長賞」との連絡をもらい、本当に嬉しかった。佳作は何度かあったが、それ以上は無理だろうと思つてきた。今までは、すべて風景画を出品してきた。書き始めたのが遅かった事もあり、私の好きな画材の一つである、乾きの早いアクリルと決め、初めて静物画で挑戦した。

今までのアクリルでの絵は、あまり塗り込まないで描いてきた。今回は、少しでも気になるところは何度も重ねて描いた。搬入の前日まで迷つて描き、アクリルで描いて正解だったと思つている。

「会長賞」を頂いたことは、他の賞を頂いたことよりもなぜか凄く重みを感じている。今後は、大きい小さい関係なく、どこへ出品するにも賞を頂いたことを心して、いままでよりも、尚、一層精進しなければと思つている。

鈴木健夫先生も近くにいななくなり、これからは、いろんな事にぶつかると思うが、楽しみながら自分の描きたい絵を見つけられればと思つています。今後とも、ご指導のほど、よろしくお願ひします。

去逝 22年12月 徳山利徳 22年12月 逝去 22年12月 高橋明子 22年12月 逝去 22年12月 冥福をお祈りします

原稿どしどし送って下さい 次号発行予定 23年5月初旬 送り先 小高峯夫宛 郵送:川越市石原町 2-53-6 TEL/ファクス:049-224-0886 e-mail: m-odaka@pop.kcv-net.ne.jp